

学習指導要領		第一商業高校 学力スタンダード 基礎
(2) 図形の計量	イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。	展開、因数分解と理解し文字の扱いを十分に理解する。 例 次の計算をせよ。 (1) $(x+3)(x+2)$ (2) $(x+5)(x-2)$ 例 次の式を因数分解せよ。 (1) x^2+5x+6 (2) $x^2+7x+10$
	(イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。	不等式の性質を理解し、1次不等式の解を求めることができる。また連立不等式の意味を理解し、解を求めることができる。 例 次の不等式を解け。 (1) $x+2>6$ (2) $x-6\leq 3$
(2) 図形の計量	ア 三角比 (ア) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。	鋭角の三角比の値を求めることができる。また三角比の値から角度をもとめることができる。 例 次の値または角度を三角比の表を用いて答えよ。 (1) $\sin 32^\circ$ (2) $\cos 23^\circ$ (3) $\sin A = 0.7880$ (4) $\cos A = 0.2588$
	(イ) 鈍角の三角比 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めること。	鈍角の三角比を理解する。またその値を求めることができる。 例 次の値を求めよ。 (1) $\sin 90^\circ$ (2) $\tan 150^\circ$ 相互関係を理解し、三角比の値から他の三角比の値を定めることができる。

学習指導要領		第一商業高校 学力スタンダード 基礎
(3) 二次関数	<p>(ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>	<p>正弦定理、余弦定理を用いて図形の角度、長さを求めることができる。</p> <p>例 (1) $\triangle ABC$ において $A = 30^\circ, B = 45^\circ, a = 3$ のとき b をもとめよ。</p> <p>(2) $\triangle ABC$ において $a = 3, b = 5, C = 60^\circ$ のとき c をもとめよ。</p>
	<p>イ 図形の計量 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。</p>	<p>正弦定理、余弦定理などを利用して距離などを考察することができる。</p> <p>例 ある道路の2つの地点A,B間の距離を測ったら100mであった。このA地点から学校の正門C地点を見たら、$\angle BAC$ が 75° であった。同様にB地点から見たら $\angle ABC$ が 60° であった。このときA地点から学校の正門C地点までの距離を求めよ。</p>
(3) 二次関数	<p>ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>	<p>関数について理解し、二次関数のグラフを作成することができる。</p> <p>例 次のグラフを書け。</p> <p>(1) $y = x^2 - 4x + 2$</p>
	<p>イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>	<p>二次関数のグラフから最大値、最小値を読み取ることができる。</p> <p>例 次の2次関数の最大値、最小値を求めよ。</p> <p>(1) $y = (x+1)^2 - 2 \quad (-2 \leq x \leq 3)$</p> <p>(2) $y = 2x^2 - 4x - 2 \quad (-1 \leq x \leq 2)$</p>

学習指導要領		第一商業高校 学力スタンダード 基礎																																	
(4) データの分析	<p>(イ) 二次方程式・二次不等式</p> <p>二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。</p>	<p>2次関数のグラフと x 軸との共有点の座標を求めることができる。また、そのグラフを利用して、2次不等式の解を求めることができる。</p> <p>例 次の2次関数のグラフと x 軸との共有点の x 座標を求めよ。</p> <p>(1) $y = x^2 - 5x + 6$</p> <p>例 次の2次不等式を解け。</p> <p>(1) $x^2 - 5x + 6 > 0$</p>																																	
	<p>ア データの散らばり</p> <p>四分位偏差、分散及び標準偏差等の意味について理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し、説明する。</p> <p>イ データの相関</p> <p>散布図や相関係数の意味を理解し、それらを用いて二つのデータの相関を把握し説明すること。</p>	<p>四分位数を求め、データの散らばり具合を考察する。また標準偏差の値を求め、データの散らばり具合を考察できるようにする。</p> <p>例 次のデータについて四分位数を求めよ。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td>88</td><td>45</td><td>46</td><td>76</td><td>87</td><td>29</td><td>67</td><td>98</td> </tr> <tr> <td>54</td><td>65</td><td>33</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> <p>相関係数を求め、2つのデータの間を考察することができる。</p> <p>例 次の2つのデータの相関係数を求めよ。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>生徒</th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th><th>E</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数学</td><td>6</td><td>4</td><td>7</td><td>3</td><td>5</td> </tr> <tr> <td>英語</td><td>8</td><td>7</td><td>10</td><td>4</td><td>6</td> </tr> </tbody> </table>	88	45	46	76	87	29	67	98	54	65	33						生徒	A	B	C	D	E	数学	6	4	7	3	5	英語	8	7	10	4
88	45	46	76	87	29	67	98																												
54	65	33																																	
生徒	A	B	C	D	E																														
数学	6	4	7	3	5																														
英語	8	7	10	4	6																														